



## 夢に向かって頑張ってください！

18日(木)日本パラリンピック委員会委員長の河合純一先生(右写真)を講師にお迎えし、同窓会・PTAのご協力をいただき創立70周年記念講演会を開催しました。

河合先生は15歳の時に全盲となりましたが、水泳で世界一になるという夢を追い続け、17歳でパラリンピック大会に出場し、以来6大会連続出場で5個の金メダルを含む21個のメダルを獲得しています。小さい頃からのもう一つの夢を叶えて、中学校の社会の先生のご経験もあります。



この日の講演会では90分程のお話をいただきましたが、珠玉の言葉の数々に、生徒は熱心に聞き入っていました。河合先生からは、パラリンピックのピンバッジと記念図書もいただいています。



なお、当日はPTA研修委員の皆様にご協力ありがとうございました。

◆障害って何でしょう？車イスでもスロープがあれば階段を登れる。不自由、不便だが不幸ではない。「ダンスに行こうよ」でなく「ダンスを一緒に踊ろう」がインクルーシブ。

◆東京パラリンピックが終わり、この先、良い世の中になったと思えるようになれば、それがレガシー。みんなが気持ちを変えれば社会は良くなる。

◆夢を叶えるために大切なことは、

①夢を持ち続けること。「マンガン成就」という言葉があるが1万回願うことが大切。1日3回で9年かかる。できるかできないかでなく、万全の準備、言い訳できない位の準備を。

②仲間を大切にすること。喜びが倍になるし、悲しみが半分になる。人の嫌がることは言わない、しないこと。人の嫌がることは見て気持ちがいいか？仲間になりたいか？間違ったらあやまること。心が弱ってるからいじめるので、いじめる人は弱い人で、かわいそうな人。

③夢を叶えるためイメージすること。イメージできないことは実現できない。夢の努力は今しかできない。夢実現のための逆算を。失敗のない人生はない。失敗は成功へのステップ。

◆自分の未来が見えてるか？見えないから見ようとする、それがチャレンジにつながり、成長につながる。夢を伸ばすのも、縮めるのも自分次第。

◆金メダルも嬉しかったが、子供が生まれた時はもっと嬉しかった。みんなのお父さん、お母さんもそう思ってるはず。だから、いじめはダメ。もっと自分の人生を輝かせてください。夢に向かって頑張ってください。

▶講演後の質疑の時間、1年なつひさん、2年結良さん、哲平さん、夫嗣さんが質問し、河合先生からお答えいただきました。しっかりした4人の質問に感心でした！▶安定は停滞と一緒。チャレンジし続けることが大事。80%でも勝てる練習と準備を。▶失敗も挫折も起こりうる。常に最高と最低を考えておき、挫折もポジティブに受け止めると成長する。▶今やりたいことができるのが幸せ。幸せのポイントをたくさん持っておくこと。不幸と思ったらきりが無い。▶リーダーは皆とゴールを共有し一緒に描けなければならない。それぞれの良さを生かし、ハーモニーを大切にしながら、決断し進めることが大切。